

夏期講習よくあるご質問

Q1】本当にこんなに勉強しないといけないのですか？（（これだけ受講しなければならぬのですか？）） y

A1】》夏期提案書は担当講師と塾長とが生徒様の現在の学力と志望校を冷静に見て、熟慮判断し作成したものです。強制ではありませんが、最も適したカリキュラムだと言えます。高校受験は一生に一度で失敗は許されません。安易に授業時間を減らしてライバルに負けて絶対に後悔してほしくないのです。→だから時間の許す限り勉強して下さい！！

Q2】部活があるからこんなに学習時間がとれない。 y

A2】》夏期講習は任意参加の個別指導となるので受講数は自由に決めて頂いて構いません。但し、第一志望校に合格した先輩生徒様は部活動がどんなにハードであっても例年、絶対学習量（この夏これだけは絶対に必要な学習量）をしっかり確保した人達です。

Q3】私立志望なので「理科」・「社会」はとりません。

A3】》高校へ進学すれば必ず理科と社会の授業があります。それに対し、冬期講習会では、試験対策のため、英数国の3科目しか勉強しません。なので理科と社会が徹底復習できるのは、この夏期講習が最後になります・・・
だからとにかく勉強して下さい！

Q4】各科目受講は何回以上が目安でしょうか y

A4】》得意・不得意に関わらず、小中高生問わず、別紙の「受講回数と授業効果」の通り、1、2教科で計10回未満は逆に効果が落ちます。まして不得意科目の克服目指すのに10回未満の受講は気休めの回数で勉強したつもりで効果は期待できません。大火事で炎が燃え盛っているのに、少量の水では炎は消えるどころか、ますます炎は大きくなります。よって不得意科目克服なら20回以上。それ以外なら10回以上の受講が必要です。

Q5】夏期講習のテキストは必要でしょうか。 y

A5】》内部生、外部生問わず必要だと思います。安価でテストもあり、前学

年・前学期および少し2学期の先取り内容が入っており、薄手だけにエッセンスが凝縮されて(詰まって)いるので、頑張ればすぐに終わることができ達成感がえられます。それをボロボロになるまで繰り返せば繰り返せばほど効果が出てくるでしょう。【テキストに直接書き込まずに、別のノートに書き写し、答え合わせすること。】 内部生のテキストの新演習・必修テキストもかなり優れていますが【新演習を3回繰り返せばどこの高校でも合格できる内容です。】現学年の範囲しかないのです。

Q6】通常授業と夏期講習の違いは

通常授業は内部生のレギュラー授業【一科目80分(小学生は60分)は月4回】、夏期講習は内部生および外部生も受講できます。

「夏期講習」は、基本、前学年・前学期の総復習(弱点単元を優先的に)、「通常授業」は、基本、2学期の先取り学習を進めていきます。ただ先取りは2学期の定期テストおよび中3の受験追い込み対策をスムーズに進めていきたい趣旨で2学期の期末テスト範囲まで進めていきたいと思います。通常授業は夏休み中5回しかないため回数的に全然足りません。よって、その不足分を夏期講習に補填していきたいと考えています。